

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【公開番号】特開2018-190961(P2018-190961A)

【公開日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-72211(P2018-72211)

【国際特許分類】

H 01 L 31/10 (2006.01)

H 01 L 31/0232 (2014.01)

【F I】

H 01 L 31/10 A

H 01 L 31/02 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バックプレーンであって、

バックプレーンの出力面上に配列される出力端子のアレイと、

それぞれが前記出力端子のうちの1つに対応する、ソリッドステートの光スイッチのアレイであって、前記ソリッドステートの光スイッチが制御波長の光に反応し、前記制御波長は前記光スイッチを作動させ、検知波長の光に対して透過性を有し、前記検知波長は画像を形成し、前記制御波長とは異なる、ソリッドステートの光スイッチのアレイと、

を含み、

前記バックプレーンは前記検知波長の光に対して透過性を有する領域を少なくとも有する材料から成る、

バックプレーン。

【請求項2】

前記光スイッチのうちの選択される光スイッチが、前記制御波長の光により作動する、入力電圧が前記出力端子に連結するように、前記ソリッドステートの光スイッチのアレイに接続する前記入力電圧をさらに含む、請求項1に記載のバックプレーン。

【請求項3】

前記制御波長および前記検知波長が直交波長の光を含む、請求項1に記載のバックプレーン。

【請求項4】

前記制御波長がグリーン光を含み、前記検知波長が近赤外線光を含む、請求項3に記載のバックプレーン。

【請求項5】

前記バックプレーン面のうちの少なくとも1枚が、前記検知波長および前記制御波長での制御光反射率の誘電層で被覆される、請求項1に記載のバックプレーン。

【請求項6】

光学システムであって、

オプティカル・カプラのアレイを有するバックプレーンと、

前記オプティカル・カプラが反応する制御波長の光を生成するプロジェクタと、
前記制御光を、並べられる画像状のようにバックプレーン上の前記オプティカル・カプラの前記アレイに誘導し、前記オプティカル・カプラを作動させるための光学系と、
検知波長の光に反応する画像形成システムと、
を含み

前記バックプレーンが、前記検知波長に対して透過性を有する領域を少なくとも有し、
前記画像形成システムが、前記検知波長の光から画像を形成する、
光学システム。

【請求項 7】

前記制御光と前記検知光を組み合わせる、または分離するために、前記プロジェクタからの前記光の経路内の少なくとも1つのダイクロイックミラーをさらに含む、請求項6に記載の光学システム。

【請求項 8】

前記画像形成システムが、ビデオカメラを有する視覚システムを含む、請求項6に記載の光学システム。

【請求項 9】

前記ダイクロイックミラーから反射される光を受け取るようビデオカメラが配列される、請求項7に記載の光学システム。

【請求項 10】

前記オプティカル・カプラが、前記検知波長の光に反応しない、請求項6に記載の光学システム。